

には、リンクがあります。は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名	グループホーム いちごハウス早島
日付	平成16年12月8日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス
評価調査員	薬剤師・介護支援専門員
	痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)
入居者の自立に向けて、機能回復にとても力を入れて取組まれている。

1階には、スロープ付の浴槽も設置されており、車イスのままでも入浴する事が出来る。週5回、専門のスタッフによる針、マッサージなども行われている。
寝たきりにならないよう、自由に生活してもらいたいという基本方針である。

室内は、広々としてゆったりとしている。死角の無いようにテーブルやソファが配置され、全体が良く見渡せるレイアウトになっている。

入居者は普段から、カラオケ、手品などを職員と一緒に楽しんでいる。系列のグループホームの入居者も参加して、定期的に陶芸や、花などの教室も催されている。また、夏祭りなど合同のイベントも行われている。

勉強会はしっかり行われ、薬について理解を深めている。医師との話し合いも行い、出来るだけ薬に頼らない生活を目指している。

改善の余地があると思われる点
ホームの外まわりは広く、十分な空間を有している。今後の活用期待したい。また、町内など地域との関係を密にする取り組みをより強化されたい。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か 自立心を尊重すること。機能低下を防ぎ、少しでも身体状態が回復し、帰ってもらうことをめざしている。 車イスのまま入浴できるスロープ付お風呂を設け、機能回復に努める。また、針、マッサージをする専門のスタッフを週5回配置するなど、レベルを落とさないためのリハビリに力を入れている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 入居者の意志を最大限尊重し、見守り中心の取組みが行われている。入居者が、思うままにふるまい、生活できることをめざしている。 陶芸や花の教室を行ったり、ホーム内で犬を飼育したりして入居者の希望や意志の表出、癒しの効果に役立っている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 各々の持っている力を把握した上で、過去の生活歴を重視している。漬物を作っている。ラッキョウの皮をむいてもらって漬けている。戦争体験者からは体験話をよく聴いている。庭で、野菜作りをする。入居者に教えてもらいながら、職員も一緒に水遣りをする。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 入居者の自立にむけて、自由に暮らせる場としてグループホームを捉えている。 系列のグループホームの管理者とも意見交換を行い、レベルアップに努めている。また、薬についての勉強会を行い、医師と話し合いながら、必要最低限の薬になるよう努めている。		